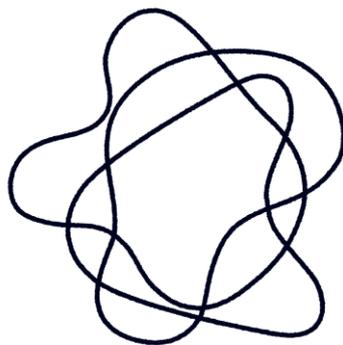


報道関係各位

2024年6月6日
株式会社 PR TIMES

プレスリリースアワード 2024 エントリー項目を先行公開！ エントリーは 6/24 から。最新情報が受け取れるプレエントリーを 本日受付開始

- エントリーやセミナー情報を発信する公式 SNS 開設 -



Press Release Awards

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、プレスリリースの可能性拡大に貢献した企業と担当者を讃える「プレスリリースアワード 2024」の開催に伴い、2024年6月24日（月）よりエントリー受付を開始いたします。エントリー受付開始に先立ち、エントリー項目を事前公開し、どなたでもダウンロードいただけるエントリー準備シートをご用意いたしました。この1年間に発信したプレスリリースを振り返りながら、事前準備にご活用いただけますと幸いです（詳細後述）。

また、本日2024年6月6日（木）よりプレエントリーの受付を開始いたしました。プレエントリーをいただいた方には、エントリー開始や詳細情報、審査員によるポイント解説を行う特別セミナーの開催情報など、お役立ていただけるご案内をお送りいたします。

【プレエントリーフォーム】 <https://tayori.com/f/pressrelease-award2024preentry/>

プレエントリー期間：2024年6月6日（木）15時00分～2024年6月23日（日）23時59分

※「プレスリリースアワード 2024」の選考には、別途本エントリーが必要となります。本エントリーは2024年6月24日（月）より受付を開始する予定です。

「プレスリリースアワード 2024」について

プレスリリース発信文化の普及と発展のために PR TIMES が 2021 年に立ち上げたのが「プレスリリースアワード」です。プレスリリースを発信するという習慣が、業態・規模・地域・法人個人を問わず広がり、表現方法や用途にも発展性を持たせることを目指しており、「PR TIMES」ご利用企業に限定せず、公に発信されたすべてのプレスリリースを対象としています。当アワードではメディア関係者やパブリック・リレーションズに関する見識者等 8 名前後の審査員を迎え、1 年間の内に日本で発表されたプレスリリースの中から、発表者が応募したプレスリリースについて、社会性・公共性・共感性・将来性等の視点から、プレスリリースの可能性拡大に貢献していると評価できるものを審査・選考し、毎年「プレスリリースの日」（10月28日）前後に表彰を行っております。

2021年の立ち上げから毎年開催し、今年で4回目の開催となります。これまでに大企業、地方のスタートアップ、学校法人や個人事業主まで、業種業態も様々な 28 社のプレスリリースが受賞に至っています。老舗企業の初めてのプレスリリースや大企業同士が手を組んだ共同発表、時代を捉えたスタートアップの巧みな情報発信など、多くの優れ



2023年10月26日、プレスリリースアワード 2023 授賞式の様子

たプレスリリースとその担当者を讃える機会を生み出してきました。

プレスリリースアワードは、発表担当者と発表に携わるすべての方々の活躍に光を当てるアワードにしたいと考えています。**1件のプレスリリースが事業を大きく成長させるきっかけとなり、社会を動かすムーブメントを起こす。そんな可能性があるということ、そしてその裏にある試行錯誤を重ねたプレスリリースとその担当者の存在を多くの方に実感していただく機会となることを目指しています。**

「プレスリリースアワード 2024」エントリー項目公開

事業活動やプロジェクトなど様々な機会に発信されるプレスリリースには、発表担当者や関係者の行動の積み重ねと思いが込められます。「プレスリリースアワード」はそうした発表に携わる全ての方々を讃える場でありたいと考えています。熱意とこだわりを持ったプレスリリースは同一企業、同一担当者であっても複数のエントリーを歓迎します。エントリー開始を前にエントリー内容をイメージするとともに、この1年のプレスリリース発表とその成果を振り返る機会にも、エントリー準備シートをご活用ください。

【エントリー準備シート】 <https://drive.google.com/drive/folders/1QK21gtZL1HRZHU7YtZf3sXmVvk4Tdg-A>

※上記シートのダウンロードができない場合は、「[プレスリリースアワードお問合せフォーム](#)」よりご連絡ください。

「プレスリリースアワード 2024」事務局より別途シートをお送りいたします。

※複数エントリーいただく際は、各プレスリリースごとのエントリーをお願いいたします。

対象プレスリリース	2023年8月1日～2024年7月31日までに発信されたプレスリリース ※「PR TIMES」ご利用有無は問いません ※対象期間に発信された全てのプレスリリースが応募対象です
募集期間	2024年6月24日（月）～2024年8月7日（水）
審査ステップ	1. 本エントリー受付（6月24日(月)～8月7日(水)） 2. 一次審査 3. 最終審査 4. 受賞者へのお知らせ 5. 授賞式・受賞プレスリリースの発表（10月28日）
エントリー方法	専用フォームからエントリー ※本エントリーフォームは2024年6月24日に改めてお知らせします
エントリー項目	・お名前 ・会社名もしくは団体名 ・住所 ・メールアドレス ・電話番号 ・プレスリリースタイトル ・プレスリリース URL もしくは添付資料 ・プレスリリースの概要/背景/配信目的（最大350文字） ・社内外に与えた影響や反響（最大200文字） ・こだわりポイント（任意/最大200文字）
受賞連絡	2024年10月上旬以降を予定
発表形式	当社開催の授賞式、当社発信のプレスリリースおよび特設サイトを予定
よくある質問	プレスリリースアワードへの応募や審査に関するよくある質問は下記の URL からご確認ください。 https://tayori.com/q/pressrelease-award2024faq

7月には、実際の審査員による審査のポイント解説セミナー開催を企画しています。PRの専門家やメディア関係者など、2024年のプレスリリースアワード審査員を務める方に審査時に意識するポイントや良い広報発表といった、エントリーに関わらず貴重なお話を聞ける機会となります。審査員の決定と合わせて詳細と申込み受付をご案内しますので、ぜひご期待ください。

プレスリリースアワード2023時に開催したセミナーレポート

<https://prtimes.jp/magazine/award-2023-examination-criteria/>

「プレスリリースアワード 2024」部門賞

「プレスリリースアワード」は大賞を決める性質のアワードではなく、各部門で輝くプレスリリースを表彰します。今回も昨年に引き続き 10 の部門賞を予定しています。また、惜しくも受賞に至らずとも最終選考に進出するプレスリリースを讃える取り組み(*)も実施予定です。

(*)「プレスリリースアワード 2023」では、最終審査に進出したプレスリリースを「Best101」として公開し、賞状をお送りしました。

イノベティブ賞

既存概念に縛られず表現や用途を最も拡大したプレスリリースに贈る賞

インフルエンス賞

発信と活用により社内外へ最も広く好意的な影響をもたらしたプレスリリースに贈る賞

ソーシャル賞

社会とのつながりを表現し深めることに最も貢献したプレスリリースに贈る賞

パブリック賞

情報の平等と信頼を実現することに最も忠実なプレスリリースに贈る賞

エンパシー賞

受け手の心を動かし共感を育むことで最も飛躍したプレスリリースに贈る賞

ヒューマン賞

プロダクトや社員、顧客に対する愛と情熱が最も感じられるプレスリリースに贈る賞

ストーリー賞

人に語りたくなるストーリーを最も有しているプレスリリースに贈る賞

ローカル賞

地元企業や自治体から地域に根差す飲食店まで、発信と活用により地元の魅力を内外へ広げることに貢献したプレスリリースに贈る賞

グレートステップ賞

外部への発信を積極的には行ってこなかった業界、これまでプレスリリースを出してこなかった企業などにおいて、覚悟をもって情報を発信しきったプレスリリースに贈る賞

特別賞

上記賞にあてはまらないが表彰したいプレスリリースや発表者の行動を讃える賞

※本エントリー開始時または最終審査会での議論によって、賞の改変（追加）の可能性がございます。

「プレスリリースアワード 2024」の最新情報をお届け！公式 SNS 開設

この度「プレスリリースアワード 2024」開催に向けて、公式 X アカウントおよび公式 Facebook アカウントを開設しました。「プレスリリースアワード」に関する審査のポイントを解説するセミナー情報や、当アワードにまつわるお役立ち情報を発信していく予定です。

プレスリリースアワード 公式 X：https://x.com/PRA_1028

プレスリリースアワード 公式 Facebook：<https://www.facebook.com/pressreleaseawards/>

「プレスリリースアワード 2023」受賞企業の声

昨年度の「プレスリリースアワード 2023」では、1161 件のエントリーから上場企業、地方企業、学校法人、自治体、個人事業主まで全 10 件を表彰しました。受賞企業へのインタビューを広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」で公開しています。その中から、特別賞を受賞した株式会社コウダプロ様、インフルエンス賞を受賞した株式会社ヤッホーブルーイング様のインタビューを一部ご紹介します。（以下、順不同・敬称略）

特別賞：株式会社コウダプロ 原口水月氏

こうした機会が設けられていることを知ったのも締め切り直前、思いつきの応募だったのでエントリーもギリギリ。ダメ元の応募だったんです。なので、受賞を聞いてまさかと驚きました。（中略）応募したプレスリリースは「大人のカレースパイス」と「カラッとペーパー」の 2 つだったのですが、5W1H などの基本は押えつつ、タイトルに言いたいことを詰め込んでいます。例えば、特別賞をいただいた「大人のカレースパイス」のタイトルでは「家庭内カレー問題」と表現して面白さと、共感を生むフレーズにこだわりました。

受賞リリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000066734.html>

PR TIMES MAGAZINE 取材記事全文：https://prtimes.jp/magazine/award-2023-koudapro/#chap_lzgzwt0v



インフルエンサー賞：株式会社ヤッホーブルーイング 渡部翔一氏

今回の企画で示した「課題の大きさ」と、その課題に対する「打ち手の小ささ」の、いわゆる「かけ算」の効果が大きかったことが、爆発的な反響につながったのだと思います。例えば、お子さんを育てているお母さんにとって「卒乳」は、人生においてとても大切なイベントですよね。それにもかかわらず、誰かが祝ってくれるどころか、本人すらも気づかないうちに卒乳の日を迎えていることが少なくありません。そういった現状に、ビールメーカーが着目して「お祝いさせてください」と声を上げたことに、共感してくださった方が多かったのかもしれないですね。

受賞リリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000050.000018582.html>

PR TIMES MAGAZINE 取材記事全文：<https://prtimes.jp/magazine/prefectures-interview-yohobrewing/>

**開催に寄せてプロジェクト責任者より****プレスリリースアワード 2024 運営責任者 PR TIMES 事業ユニット 第一営業部 松本 英里香**

これまでのプレスリリースアワードを通じて、思いがけず受賞し改めて PR の価値を感じていただいた方、入念な準備でようやく受賞を手にした方、惜しくも受賞できず来年こそと意気込んでくださる方など、さまざまな人の思いやドラマに触れてきました。プレスリリースが単なる報道素材としてだけでなく、発信に携わった方々の努力が感じられるものであったり、受け手がその発信にエンパワーメントされて共感や応援へとつながっていったりするものへと進化していることに、プレスリリースの可能性と魅力を感じています。



今年で 4 回目の開催となりました。プレスリリースアワードが、発表一つひとつに携わる方々の思いや苦勞、挑戦を讃える場になり、今後の決意や行動に繋がるポジティブな循環を生み出すきっかけになるよう、運営事務局一同で心を尽くして準備を進めてまいります。みなさまの大切なプレスリリースのご応募をお待ちしています。

株式会社 PR TIMES について

PR TIMES (読み：ピーアールタイムズ) は、「**行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ**」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は **9 万 4000 社** を超え、国内上場企業の **57% 超** に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただく **メディア記者 2 万 6000 人超**、サイトアクセス数は **月間約 9000 万 PV**、プレスリリース件数は **月間 3 万 4000 件超**、累計で **100 万件** を超えています。全国紙 WEB サイト等含むパートナーメディア **240 媒体以上** にコンテンツを掲載しています (2024 年 2 月時点)。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、[isuta]「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える **カスタマーサポートツール「Tayori」** など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社 グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES (東証プライム 証券コード：3922)

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005 年 12 月

代表取締役：山口 拓己

- 事業内容：
- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
 - 動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
 - アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」(<https://marph.com/>) の運営
 - カスタマーサポートツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営
 - 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」(<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
 - プレスリリース専用エディター「PR Editor」(<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営
 - Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>